

世界の腕時計

WORLD WRIST WATCH

WORLD **M**OOK

No. **143** ワールドムック1220
令和2年4月15日発行
(通巻1220号)

メカ、デザイン、歴史、どれをとっても
腕時計ほどおもしろいものはない!

WORLD WRIST WATCH

LVMH ウォッチ ウィークドバイ 2020 変わりゆく時代の選択

2020年新作情報「日本メーカー編」
——
シチズンセイコー、グランドセイコー、グレドール、オリエント、ブローバ

ヴァシロンコンスタンタン、エジエリー、コレクシヨン

ポルシェデザイン、グリークログラフタイムレスマシヨン、&

1919 グローブタイマー UTC

スピークマリオン、ワン&ツー、アカデミックフルムーン 38mm



メカニケ・ヴェローチ・クアトロヴァルヴォレ・マネーメーカー

ドル、ユーロ、ポンド、円。やっぱりお金は魅力的



「クアトロヴァルヴォレ マネーメーカー」。直径49mmの18Kピンクゴールド(右)あるいはチタニウム(左)のケースに自動巻きのCal.MV8802(33石、毎時2万8800振動、パワーリザーブ約48時間)を搭載する。4つのインダイアルはそれぞれ異なる時間帯の時刻を表示できるが、右上のユーロのインダイアルには日付表示、右下のポンドのインダイアルには秒針が付く。5気圧防水。18KPGは495万円で限定88個、チタニウムは132万円で限定250個。

4つのムーブメントをひとつの時計に納め、4つの時刻を示す「クアトロヴァルヴォレ」でデビューしたメカニケ・ヴェローチは2006年にイタリアで産声をあげた。モータースポーツ好きが創業したブランドで、4つのバルブを装備したクアトロ・ヴァルヴォレ・シリンダー・ヘッドに着想を得たデザインのユニークさが目を惹いた。その後、ブランド・オーナーも交代し、2015年にはスイスの金融業界出身のチェザレ・チェリート氏が3代目のCEOに就任して、今日に至っている。本社もイタリアからジュネーブ近郊のプラレワットに移転し、時計ブランドとして本腰を入れる体制も整えた。そしてスイス製部品をスイス国内で組み立てる「スイス・メイド」の基準に添ったものとなり、文字盤の12時位置には「ITALIAN DESIGN」、6時位置には「SWISS MADE」と記され、裏蓋にも「Fabrique à Genève」(ジュネーブで製造)の文字が刻まれる。

過去にはひとつの時計に小型の自動巻きムーブメントのETA2671を4つ装備していたが、2017年にはひとつのムーブメントで4つの時刻を表示する、新設計のCal.MV8802が完成し、「クアトロヴァルヴォレ」と「アイコン」のふたつのラインを発表した。いずれも4つの表示を備える点は変わらないが、前者は1枚の風防で覆い、後者は4つのインダイアルそれぞれに風防を備える点が変わっている。MV8802はムーブメント開発を専門とするテロス社が開発し、コンセプト社で製造を行い、完成品の組立はジュネーブにある専門工房が担っている。

現在、アイコンを中心に製品開発が進められるが、昨年末にはクアトロヴァルヴォレにユニークな新作が加わった。既存モデルとは趣を異にした、その名も「マネーメーカー」。4つのインダイアルにドル、ユーロ、ポンド、円のマークを描いたデザインで、これは金融業界で活躍した現CEOのアイデアだという。こうして4つの時間帯の時刻を表示するという実用性に、遊び心とウィットを加えたモデルが誕生した。4つの文字盤を備えるからこそそのデザインだが、今後もこれを応用したモデルが登場するのだろうか。(T・K)